

説明・記載例 (訴状(少額訴訟・交通事故))

- ①提出先の裁判所名を記載してください。
- ②訴訟物の価額(訴額)及び手数料額は被告に請求する内容によって決まります。

原告や被告が法人の場合には、法人の本店所在地、法人名、代表者の資格、氏名を記載してください。

【例】

〇〇市〇〇町〇〇番地
原告 〇〇株式会社
同代表者代表取締役 〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇番地
被告 〇〇株式会社
同代表者代表取締役 〇〇〇〇

訴状とともに提出する書類の名称を記載してください。
ここに例示されているような証拠書類があれば該当する□をレ点でチェックし、その他の証拠書類があれば空欄の□をレ点でチェックして書類の名称を記載してください。

訴 状	
少額訴訟による審理及び裁判を求めます。本年、この裁判所において少額訴訟による審理及び裁判を求めるのは ● 回目です。	
令和 ● 年 ● 月 ● 日	
●● 簡易裁判所 御中	
事件名	損害賠償 請求事件
訴訟物の価額	金 ●●●● 円
手数料額	金 ●●●● 円
〒●●●●-●●●● 住所(送達場所) ●●県●●市●●町●●番●●号	
原 告	甲野 太郎 (甲野 胆)
電 話	●●●●-●●●●-●●●●
FAX	●●●●-●●●●-●●●●
〒●●●●-●●●● 住 所 ●●県●●市●●町●●番●●号	
被 告	乙野 次郎
〒 - 住 所	
被 告	
添付書類	
☒ 交通事故証明書	☒ 示談書 ☐ 念書 ☐ 車等の損傷部分の写真
☒ 領収書 ☐ 車等の修理代金見積書	☐ 事故状況説明図
☐ 登記事項証明書(商業登記簿謄本)	☐

【留意事項】

訴状は、裁判所用と相手方用として、正本、副本の2部を提出してください。
相手方が複数の場合は、相手方の数+1となります。

本年中に同じ裁判所において少額訴訟による審理及び裁判を求めた回数を記載してください。

訴状の作成日を記載してください。

- ◎訴えを起こす方(原告)の住所、氏名、電話番号、FAX番号を記載してください。
- ◎印鑑は、認印(スタンプ式不可、法人の場合なるべく代表者印)でも結構です。
押印は朱肉をご使用ください。
- ◎原告複数名が1通の訴状で訴えを提起する場合は、この欄をさらに書き加えてください。
- ◎裁判所からの書類を住所以外に宛てて送って欲しい場合には、「(送達場所)」の記載を削除し、別途、送達場所等の届出を行ってください。

訴えを起こす相手方(被告)の住所、氏名を記載してください。

説明・記載例 (訴状(少額訴訟・交通事故))

遅延損害金の支払いを求める場合には、いずれかの口をレ点でチェックし、いつからの遅延損害金の支払をもとめるのかを記載してください。事故のあった日から支払を求める場合は、その日付を記載してください。

「訴訟費用」とは、申立手数料や証人に支払う旅費・日当などのことです。
(弁護士等の費用は含まれません。)

請求の趣旨

1 被告【☐ら／☐】は、原告に対し、【☐連帯して】次の金員を支払え。

☒ 金 ●●●● 円

☒ 【☒上記の金員／☐上記の金員のうち金 ●● 円】に対する令和

● 年 ● 月 ● 日から支払済みまで年 ● % の割合による金員

2 訴訟費用は、被告【☐ら】の負担とする。

との判決 【☒ 及び仮執行の宣言】 を求める。

「請求の趣旨」とは、訴えによって求める判決内容の、簡潔かつ確定的な表示です。
あなたが被告に求める請求の内容を簡潔に記載してください。

◎仮執行の宣言とは、判決が確定する前に判決の内容に基づいて強制執行の手續に着手することを求めるものです。
◎これを希望する場合には、☐をレ点でチェックしてください。

説明・記載例
(訴状(少額訴訟・
交通事故))

紛争の要点(請求の原因)

1 交通事故の発生

(1) 日時

令和 ● 年 ● 月 ● 日 【☒午前/□午後】 ● 時 ● 分

(2) 場所

●● 県 ●● 市 ● 町 ● 番先路上

(3) 原告車両等

ア 車種 ☒普通乗用自動車/□普通貨物自動車/□自動二輪車/
□原動機付自転車/□自転車/□徒歩

イ 運転者 ☒原告/□その他 ()

ウ 所有者 ☒原告/□その他 ()

(4) 被告車両等

ア 車種 □普通乗用自動車/□普通貨物自動車/☒自動二輪車/
□原動機付自転車/□自転車

イ 運転者 ☒被告/□その他 ()

(5) 事故態様 □衝突/□追突/☒接触/□その他 ()

2 ☒被告/□その他 () の過失態様

□前方不注意/□センターラインオーバー/□一時停止違反/☒無理な追越し/

□制限速度違反/□信号無視/□その他 ()

3 被告の責任

☒被告 は、上記2記載のと通りの過失責任がある。

□被告 は、被告車両運転者の使用者であり、業務中の本件事故について、
使用者としての責任がある。

「紛争の要点(請求の原因)」とは、請求の趣旨と相まって請求を特定する事項などです。請求を特定するのに必要な事実や請求を理由付ける事実など、請求の内容の法律的な根拠及び理由、あなたの主張を具体的に記載してください。

説明・記載例
(訴状(少額訴訟・
交通事故))

事故によってあなたが支払
わなければならなくなった
費用で、被告（相手方）に
請求するものの内訳を記載
してください。

4 上記事故によって受けた損害

(1) 物的損害

ア 修理代金 金 ●●●● 円
イ その他
代車使用料 金 ●●●● 円
金 円
小計 金 円

(2) 人身損害

ア 傷害の部位 鎖骨骨折
程度 (全治 ● 日 入院 日 通院 ● 日)
イ 治療費 金 ●●●● 円
ウ その他
休業損害 金 ●●●● 円
金 円
金 円
小計 金 ●●●● 円

(3) 合計 金 ●●●● 円

(その他の参考事項は以下のとおり)

被告(相手方)の言い分や、この紛争
について他に参考になることを書い
てください。